

豊かな自然に、ひと、もの、まちが輝く健康都市、網走



市議会だより

第100号
(令和2年8月)

発行／網走市議会

編集／網走市議会広報委員会



～議会だより第100号までのあゆみ～

創刊号（H7.11）から第90号までの表紙

【もくじ】

トピックス	2P
臨時会報告	3P
一般質問	4～5P
議案審査結果	6P
新庁舎建設特別委員会	7～8P
議会アンケート結果	

市民のみなさまの傍聴をお待ちしております

次の定例会は9月1日(火)

～9月18日(金)開催予定です。

※詳細につきましては、議会事務局へ

お問い合わせください。

■問い合わせ TEL 44-6111(内線281・282)



中継ホームページ
はこちらから

6月定例会のトピックス

第2回定例会概要

第2回定例会は6月16日から25日まで開催され、一般会計（5億8969万円）国民健康保険特別会計（1339万円）介護保険特別会計（75万円）後期高齢者医療特別会計（301万円）の補正予算、網走市手数料条例の一部を改正する条例制定、網走市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定、網走市介護保険条例の一部を改正する条例制定、網走市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定、辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更、辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定の10議案が提案され、各常任委員会に付託し審査を行いました。

補正予算は、畑作産地の構造転換に関する補助金（2億2000万円）国のGIGAスクール構想に基づき小中学校の児童生徒にパソコン機器を整備するための費用（1億6720万円）地域が行う防災コミュニティ活動備品整備に係る補助金（200万円）などが主な内容であり、また国民健康保険などの特別会計では、新型コロナウイルス対策として、国民健康保険加入者が感染した場合に傷病手当金を支給するための追加補正（188万円）、新型コロナウイルスの影響によって収入が減額した方への保険料の減免及び還付をするための補正予算（1151万円）などが主な

内容であり、各委員会では、GIGAスクール構想での設備の導入の時期や機能、そして自宅でインターネット環境がない世帯の状況と対策などについてや、防災備品の地域での整備の今後の進め方についてなどの議論がされました。

また、6月25日には追加議案として一般会計（6億6785万円）の追加補正について提案され、各委員会に付託し審査いたしました。

追加補正の内容としては、当初予定していた道路照明LEDのリース事業などの道路橋梁に係る事業が、国の緊急自然災害防止対策事業として認められたため、事業内容や財源を補正し、また新型コロナウイルス対策を追加し、ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業

として、収入が減少しているひとり親世帯へ5万円、扶養手当を受けている世帯に追加で5万円、子ども2人目以上からは更に追加で3万円の支給する事業内容を審査し、その支給方法や支給時期などについての議論がされました。

その後、本会議が開催され、各委員長から審査報告があり、全会一致で原案通り可決されました。



議会だよりを音声でお届けします

朗読ボランティア団体『声の図書館そよかぜ』は、音訳や訪問朗読などの活動をしています。平成13年から目の不自由な方やご高齢の方々のために「議会だより」を朗読したCDを作成し、御希望の方々に無償で配布しております。

※CDをご希望の方は、網走市議会事務局までご連絡ください。

トピックス

臨時会の概要

新型コロナウイルス感染症による影響が広がる中、市民の命とくらしを守る対策が急がれることから、4月20日～6月8日にかけて4回の臨時会が開かれました。

4月20日の第1回臨時会では飲食店を応援する事業をはじめ5事業が上程され、各委員会に付託されました。

総務経済委員会では委員の中から、プレミアム付き飲食券では飲食店をすぐに応援することにはつながらない。家賃補助など直接支援が必要だ。また、感染防止が必要との意見が出されました。観光情報発信事業については「収束していかない状況で網走に来てくたさいというのは無理がある。急いで決める必要はない」と委員が指摘。

市は「網走に来てくたさいではなく、コロナウイルスで大変だけど網走は元気です」とのメッセージをコロナの収束を待つて出したいと答弁。議員間の討議では、ほとんどの議員が今回の補正からは除くべきとなり、その後、本会議に観光情報発信事業を削除した修正案が提案され可決、今までにない議会となりました。

5月1日には、第2回臨時会が開かれ、飲食店や宿泊施設、交通事業者への直接支援が盛り込まれた補正予算案が出され、全会一致で可決されました。

さらに、5月22日には第3回臨時会が開かれ、子育て世帯への支援や小売業、卸売業などへの直接支援をする補正予算案が出され、全会一致で可決されました。

6月8日には第4回臨時会が開かれ、宿泊業へ

の支援がさらに必要としてクーポン券の発行、及び、感染予防のためスクールバス増便の補正予算案が出され、全会一致で可決されました。※コロナ対策の主な事業は左記のとおりです。

○第1回臨時会（4月20日）

事業名	概要	予算額
プレミアム付飲食券事業	3,000円券を2,000円で販売	6,450万円
プレミアム付商品券事業	13,000円券を10,000円で販売	3億1,950万円
感染症予防資材整備事業	マスク20万枚・消毒液・防護服	2,600万円
学校給食費返還等事業	臨時休校に伴う給食費の返還	250万円

○第2回臨時会（5月1日）

事業名	概要	予算額
社交飲食店支援金給付事業	登録事業者に10万円	2,420万円
休業要請協力支援金給付事業	道の休業事業者に10万円	1,620万円
宿泊施設等支援金支援給付事業	固定資産税額の年額の1/4に相当する額を給付	2,500万円
特別定額給付金	市民へ一人 10万円	35億4,200万円

○第3回臨時会（5月22日）

事業名	概要	予算額
社交飲食店支援金給付事業	1店舗に一律10万円	2,420万円
営業継続支援金給付事業	小売業など1店舗に10万円	6,350万円
子育て世帯臨時特別給付金	国の子育て世帯へ1世帯に1万円 市から1万円上乗せ	8,400万円

○第4回臨時会（6月8日）

事業名	概要	予算額
東京農大連携支援事業	臨時バス運行経費への支援金	45万円
緊急宿泊施設利用促進事業	網走に泊まろうキャンペーン、団体宴会利用助成、長期滞在網走モデル事業 など	2,200万円
スクールバス密集対策事業	予防対策としてバスを増便	1,980万円



一般質問から

新型コロナウイルス対策
などについて

民主市民ネット 川原田 英世



問) 市が管理を委託している施設も新型コロナウイルスの影響で閉鎖に。入館料などの減収があったと考えられるが、対策は。

答) 影響があったと認識しているので、対策を講じる。

問) 2次感染・3次感染と長期化が想定される。今から感染防止備品を確保し対策マニュアルを作成していく必要があると考えるが。

答) 非接触型の体温計50台を確保するなど対策をしている。各施設の対策マニュアルも行っている。

問) コロナ後の社会の考え方として、テレワークの推進や5Gなどの環境整備に取り組む必要があるが、市の考えは。

答) 市職員のテレワークは個人情報も多く扱うことから難しい。環境整備は進めていくが、5Gは都市部から進んでいくため時間がかかる。

※その他、学校給食について伺いました。

テレワーク推進の見通しについて

公明クラブ 澤谷 淳子



問) テレワークは首都圏で一気に普及した。テレワークしながらバケーションする長期滞在ワーケーション客について取組と課題は。

答) 観光事業が回復するに伴いワーケーション需要もあると考える。1ヶ月以上の長期滞在企業者に「お試し暮らし」を提案している。また本年7月から年末まで6泊以上、宿泊代金の5割助成の長期滞在網走モデル事業を実施し、利用者の声から今後の在り方を研究して行く。課題として今後、全国各地域がワーケーション推進を図る中、網走の魅力の向上とPRが重要と考える。

問) まだ地方ではそれどころではない、テレワークする業種がない等、必要でも出来ない意識があると思う。当市でテレワークを推進していく考えは。セミナー開催も必要では。

答) 意識変化も予想されるので、今年度の調査により市内事業者の状況を把握していきたい。セミナーは先ず8月に開催予定である。

市営住宅の活用を
単身用住宅を増やせ

日本共産党議員団 村椿 敏章



問) 大曲1丁目の市営住宅の入居状況は。若い世帯が入居できるよう、お風呂のリフォームを検討すべき。

答) 72戸中49戸が入居と昨年より減っている。長寿命化計画に基づいて外壁塗装などを行っている。リフォームは予定していない。

問) 住民の住み替えをし、大規模にリフォームすべき。補助は利用できるのか。

答) 今後、築30年を超える鉄筋コンクリート造りの団地が増える。リフォームについて調査・研究をする。補助は可能である。

問) 網走市では3,447世帯が独居老人世帯であり、戸建て住宅は除雪や手入れが大変。単身者向けの公住は何戸あるのか。

答) 単身者向け住宅は現在424戸ある。年15戸ほど募集し抽選倍率は約2.5倍。2人以上世帯の倍率は1倍。

※他に避難所のコロナ対策、コロナ感染対策について質問しました。

オンライン診療、带状疱疹
ワクチンへの助成

公明クラブ 永本 浩子



問) 新型コロナウイルスの感染拡大防止と医療崩壊防止のためにもオンライン診療を推進すべきでは。

答) 国の第二次補正予算には情報通信機器を用いた医療環境の確保や薬剤交付事業に対する支援がある。医師会等関係機関への情報提供とともに意見交換を行っていきたい。

問) 妊産婦は感染拡大に伴い強い不安を抱えている。オンライン保健指導を推進すべき。

答) 緊急事態宣言を受け母親学級等を中止し電話で対応したが、顔が見えるオンラインだと安心感があり有効。導入を検討していく。

問) 水痘ワクチンが定期接種化され带状疱疹の低年齢化と激増が懸念される中、コロナ禍によるストレスの増大で更に増える可能性がある。带状疱疹ワクチンの接種に助成を。

答) 带状疱疹は疲労やストレス等により免疫力が低下し、80歳までに3人に一人が発症。助成については研究していきたい。

※6月に開催されました第2回定例会会議録については、9月下旬に完成する予定です。

一般質問から

高校総体ボート競技の誘致について

志誠会 古田 純也



問) 市の誘致への意気込みについて伺う。

答) 当市におけるボート競技は地元の高校生や社会人が全国大会の常連となる歴史と伝統をもつ競技であり昭和62年高校総体、平成元年国民体育大会におけるボート競技の開催地、日本代表や大学ボート部の合宿地として実績がある。2023年高校総体夏季大会が当市で開催されるようになった場合は更なる競技力向上をはじめ、市民が全国レベルのスポーツ競技に触れる機会となり子ども達に夢や希望、勇気をもたらすものと期待している千人規模の選手、関係者が全国から集まる事が見込まれ、網走の食や自然を体感して頂き思い出と今後の網走との繋がりを感じることでできるおもてなしにより交流人口の拡大、地域経済の活性化に結びつけたいと考えている。正式決定した際は市民、地元関係団体と連携して大会運営の成功に向けて取り組んでいきたい。

ブロードバンドの整備 地場製品の消費促進

志誠会 小田部 照



問) コロナ関連で国の2次補正予算に、ブロードバンド未整備区域への整備支援が盛り込まれた。当市の整備が進んでいないエリアは農村部であり、スマート農業の実現、リモートワークやオンライン教育等も含め、当該事業に手を挙げ、市のブロードバンド環境無整備地区にも100%整備実現をすべき。

答) 市も補正予算や地方創生臨時交付金の活用を検討しており、全地域への整備率100%を目指して事業を進めていく。

問) コロナの影響で、水産物を含めた地域経済を支える地場製品の売れ行きが良くない話を聞く。水産物消費に対するキャンペーンを仕掛け、その魅力を伝えることが大切と思うが、そうしたアクションに対する認識は。

答) 地場産の「ホタテ」をはじめとした水産物の更なる認知度向上と地元消費の促進は大切。漁協や水産加工業者と連携し国の事業を活用した効果的な対策について検討する。

子どもから国保料の均等割を加算しないで

日本共産党議員団 松浦 敏司



問) 保険料の改定で賦課限度額が医療分2万円、介護納付金1万円引上げで合計99万円。協会けんぽと比較した場合どうなるのか。

答) 制度に違いがあり単純に比較できないが平成29年度の一人当りの平均保険料負担率は、協会けんぽ7.5%、共済組合5.9%、市の国保は10.3%となる。

問) 均等割は収入のない子どもであっても一人当たり27,500円が加算される。子ども分は半額にすべきではないか。

答) 子どもの均等割は、国が制度としてすべきものであり、国に軽減を要望している。

問) 子どもの均等割をなくした場合の影響額は、どうなるのか。

答) 18歳以下の子どもは、830人で医療分と支援分を合わせると一人当たり37,000円で、影響額は3千万円となる。

※他に種苗法、中小・小規模事業者対策について質問しました。

事業者家賃支援実施を 漁業の課題への対応を

民主市民ネット 平賀 貴幸



問) 国は臨時交付金を活用し自治体独自で事業者の3月・4月分の家賃支援を容認した。網走市も実施すべきではないか。

答) これまでも資金の使途を定めない支援策を展開してきた。新たな家賃補助を行うことは現在のところ考えていない。

問) 鮭鱒漁が秋には控えている。流通経路や冷凍庫の確保などに不安があるが。

答) 現段階では見通しを立てることは困難だが今後も情報収集に努める。

問) 北見市や紋別市が実施している福祉事業所への独自支援を網走市も実施しては。

答) 現時点で独自の支援は考えていない。

問) 保育所・児童館で職員への支援を国は実施しないが網走市の独自支援は。

答) 国に対し慰労金支給を関係機関が要望しているので国の動向を注視する。

※このほか多岐にわたり質問を実施。

※質問及び答弁については、要約して紹介しています。詳しい内容につきましては、市議会ホームページ上及び市立図書館所蔵の会議録をご覧ください。

議案審査結果

第1回臨時会の議決結果について（4月20日）

○全会一致で決定・可決・承認した選挙・議案・報告

選挙第1号 網走地区消防組合議会議員の補欠選挙

議案第2号 網走市麦類乾燥調製貯蔵施設新設プラント工事請負契約の締結について

報告第1号 平成31年度網走市一般会計補正予算に係る専決処分の報告について

○修正可決した議案

議案第1号 令和2年度網走市一般会計補正予算

第2回臨時会の議決結果について（5月1日）

○全会一致で可決した議案

議案第1号 令和2年度網走市一般会計補正予算

議案第2号 網走市常勤の特別職に属する職員の給与に関する条例の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について

第3回臨時会の議決結果について（5月22日）

○全会一致で可決した議案・意見書案

議案第1号 令和2年度網走市一般会計補正予算

議案第2号 網走市税条例等の一部を改正する条例制定について

意見書案第1号 新型コロナウイルス感染症対策の更なる強化と迅速かつ強力な対応等を求める意見書提出について

意見書案第2号 公共施設等適正管理推進事業債の期間延長等を求める意見書提出について

第4回臨時会の議決結果について（6月8日）

○全会一致で可決した議案

議案第1号 令和2年度網走市一般会計補正予算

第2回定例会の議決結果について（6月16日～6月25日）

○全会一致で可決した議案・意見書案等

議案第1号 令和2年度網走市一般会計補正予算

議案第13号 網走市農業委員会委員の任命について

議案第2号 令和2年度網走市国民健康保険特別会計補正予算

意見書案第1号 2021年度地方財政の充実・強化を求める意見書提出について

議案第3号 令和2年度網走市介護保険特別会計補正予算

意見書案第2号 2020年度北海道最低賃金改正等に関する意見書提出について

議案第4号 令和2年度網走市後期高齢者医療特別会計補正予算

議案第5号 網走市手数料条例の一部を改正する条例制定について

議案第6号 網走市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について

意見書案第3号 新型コロナウイルス対策にかかる地方財政の充実・強化を求める意見書提出について

議案第7号 網走市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

請願第1号 2021年度地方財政の充実・強化を求める意見書提出についての請願

議案第8号 網走市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

請願第2号 2020年度北海道最低賃金改正等に関する意見書提出についての請願

議案第9号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

議案第10号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

請願第3号 新型コロナウイルス対策にかかる地方財政の充実・強化を求める意見書提出についての請願

議案第11号 令和2年度網走市一般会計補正予算

議案第12号 網走市固定資産評価審査委員会委員の選任について

トピックス

新庁舎建設特別委員会

令和元年6月27日に設置された市庁舎の建て替えについて調査研究を行う新庁舎建設特別委員会は、6月19日に13回目の委員会を開催しました。

内容は、3月19日に中間報告をしたものの内、「新庁舎の位置」について、①中心市街地「金市館ビル跡地周辺」②現有地での建て替え③市営住宅潮見団地整備余剰地④駒場運動公園市営球場の除却を試みた上での用地化⑤新たな建設地をさらに検討すべき、という5つの見解が示されており、さらには絞り込みをすべく議論を深めました。

各委員からの発言としては、「現在地を基本として考える。」「中心

市街地で土地を購入するならば市有地で進めていくという計画の前提が崩れる。」「新型コロナウイルスによる影響で大きく変更が求められる。」「防災面や広い用地を考えると高台地域が適切。」「網走市新庁舎建設基本構想策定検討委員会の答申を尊重すべき。」「中心市街地が適切。」「車社会なので場所に関して特に意見はないが、中心市街地で大規模な土地が活用できるのであればいい。」「アフターコロナ社会と人口減少を見据えて、既存施設を有効活用した超分散型庁舎にすべき。」などの意見が出されました。

今後はこれらの内容からさらに議論を深める

と共に、新型コロナウイルスの影響で市の財政にも大きな影響が想定されることも鑑みて、庁舎建設に関わる財政計画について調査研究を進めることとなりました。



新型コロナウイルス感染症に関する議会アンケート

新型コロナウイルスに関わる経済的影響を把握しようと、網走市議会は市民を対象とするアンケート調査を行いました。短期間に多数の御協力頂き、誠にありがとうございました。

アンケートは、企業経営者・事業主向けと市民向けの2本立て。5月14日から順次、新聞やフリーペーパー

等への折り込みを行い、網走市内の約19000世帯に調査用紙を届け、回答を募ったほか、インターネットでも受け付けを行いました。締め切りの5月21日までに、企業経営者・事業主向け52件、市民向け149件の回答を頂きました。

企業経営者・事業主向けでは、飲食店経営

や理美容業、建設関係、小売店からの回答が目立ち、2月から4月までの売上を前年と比較して、「5割以上の減少」と回答が42・8%、その中でも「9割以上の減少」と答えた方が6・1%でした。また、経営の先行きについての見通しは「事業の存続が危ぶまれる」が38・8%、「廃業を考えている」が6・1%。従業員の雇用についても「勤務時間短縮」や「一時帰休の実施」を行っているケースが3割から4割見られました。網走市に実施を望む施策については「観光関連の落ち込みを復活させる取り組みが必要」「市内で感染例が出た場合の対応を具体的に示してほしい」「上下水道料の

減免を」「昨年対比50%減にとられない給付金」「東京農業大学オホーツクキャンパスの学生への支援」などの提言を頂きました。

市民向けでは、常勤雇用の方々のほか、パートタイム、年金生活の方から多数の回答を頂きました。働いている方々の職種は福祉、医療、教育、観光、小売など多岐に渡り、今年2月から4月の勤務形態は「これまで通り」が52・6%の一方、「勤務時間短縮」「一時帰休」が24・2%。賃金も「これまで通り」が56・7%の一方、「勤務時間に合わせて減額」が13・3%でした。

設問では、「（臨時休校中の）子どもの学習面が心配」「勤務先の感染予防対策が不十分で、働くことが怖い」「JＲや航空路線など網走への足の確保が今後もあるか不安」「賃金の下がり、生活費が足りない」「勤務先の倒産やリストラが心配」などの記載がありました。

網走市に実施を望む施策については、「落ち込みの大きい観光、運輸、宿泊、娯楽業への支援の充実」「休校で学習が遅れた分を取り戻すため、次年度以降は15人程度の少人数学級を編成してほしい」「子どもたちが安心して参加できるスポーツイベントの実施」「税金全般の減免、支払い猶予」「介護施設でのクラスター予防のための支援を」「医療従事者や介護関連職種の方々に

相応の手当てを出すべき」など多数の御意見を頂戴しました。

当該調査の結果及びお寄せいただきました御意見については、各議員が共有し、議会議論の深化と効果的な政策立案のために活用させて頂きます。

この度の調査に御協力頂きました皆様に重ねて感謝申し上げます。

◆編集後記◆

この市議会だよりは、議会の活動を市民の皆様にお伝えするため、議員自ら企画・編集しております。第10号の今号は、特に表紙からじっくり見て頂けますように。

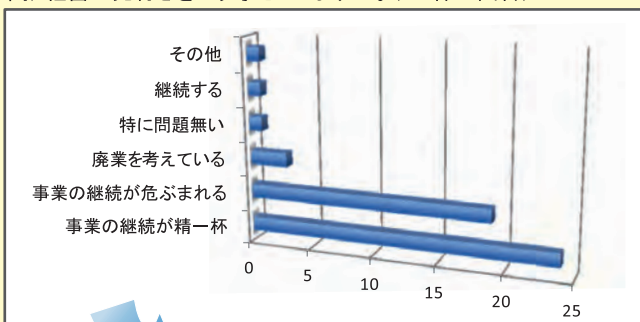
【広報委員会】

委員長 澤谷 淳子
副委員長 川原田 英世
委員 石垣 直樹
村椿 敏章

新型コロナウイルスに関する影響調査

企業経営者・事業主編

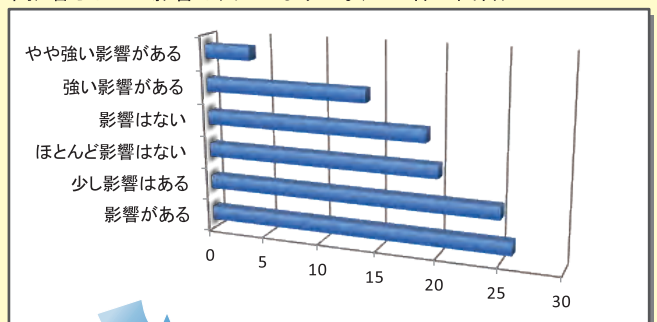
問) 経営の先行きをどう考えていますか。(49件の回答)



事業の継続が精一杯…………… 24
事業の継続が危ぶまれる…………… 19
廃業を考えている…………… 3
特に問題無い…………… 1
継続する…………… 1
その他…………… 1

市民の皆様編

問) 暮らしへの影響は出ていますか。(135件の回答)



影響がある…………… 26
少し影響はある…………… 25
ほとんど影響はない…………… 20
影響はない…………… 19
強い影響がある…………… 14
やや強い影響がある…………… 4